（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	マイスクール小あさひがおか

公表日　2025年　4月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	環境の構造化に配慮する	個人活動、集団活動の形態に応じて空間を分けながら、対応をしている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	職員の休調管理の徹底はもちろんだが、急な利用にも柔軟に対応できるよう人員の調整は行っている	職員の休調不良等で勤務量より応援体制を取っている場合もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		環境調整でお子さんに分かりやすい表記で掲示化している	物品内の構造化を意識し、活動内容に応じて棚が落ち着いて活動をすることが出来している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごける環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		自立活動教材の整理が追いついておらず、すぐに提供できない時がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			お子さんにどういった時に使用するかを説明し、視覚支援も充実させている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		出勤日数の少ない職員は参加する機会が少ないため、話し合った内容については後日改めて共有している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			保護者様の要望などは適宜対応している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		LINE等を活用し、気になった時には全体で把握できるよう共有している
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		第三者評価は実施できていないため、会社全体的に積極的な実施を検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2		定期的に開催しているが、全員が受講できない時もある
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			ホームページに掲載している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			保護者様とのモニタリング（面談）や相談支援員とのモニタリング調整、内容の共有を行っている
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			現在のお子さんの状況を把握するために、直近の情報を保護者様にも確認させていただき、状況の把握や支援に努めている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含めインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		アセスメントに関しては、保護者様のアンケート や事業所での活動内容の共有をもとに確認している
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2		担当制で行っている場合もあり、全体で立案出来ない時もある
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			個別活動では自立活動を個々で充実し、集団活動ではお子さん同士の関わりを強化している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2		職員のお昼時間の兼ね合いにより打ち合わせの時間の確保ができない場合はその都度LINEにて共有している
	21	支援終了後には、職員間でめざす打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		必要に応じて管理者に報告し、全体共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			全職員が観察・連絡・相談の重要性を持ち、事前に確認すべきことを共有し、話し合いを充実していく必要がある
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	2		複数組み合わせて支援を行っているが、地域交流に関しては実践できていない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		お子さん自身に活動を選択しやすいように、言葉だけでなく写真を活用して選択の機会を設けている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			今年度対面での参加の機会は少なかったが、本人に関わる全ての関係機関の参加が望ましい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			時間変更などがあれば保護者様を通して聞いながら柔軟に対応している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		8		相談支援事業所や保護者様より要望があれば情報的に情報共有をしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を適時まとめる等しているか。	5	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	4	4		今年度事業所訪問に中田所の支援員さんが来られているが、今後は定期的に情報共有していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		保護者様からの希望が少ないため実行できていない
	33	（仮）（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		8		参加自体はできていないが、ホームページで情報は確認し共有している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の場合や情報提供等を行っているか。		8		保護者様からの希望が少ないため実行できていないが、今後は前向きに検討していく
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			保護者様とのモニタリング（面談）にて確認をしている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		保護者様からの希望が少ないため実行できていないが、今後は前向きに検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			出来るだけ早いタイミングで迅速に対応している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			事業所内の毎月の新聞やインスタ、ブログにて随時更新している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		現状は出来ていないが、今後は保護者様の要望も踏み検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			訓練については実施はしているものの、すべての利用者が対象となっているわけではない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	薬物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8		保護者からの情報のみであり、主治医からの情報は直接伺われていない状況である 調整家庭などで合体の取り扱いについては関係と対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			避難訓練を定期的に実施している
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	4		安全計画の具体的な取り組み内容までは全利用者に周知できていないため、今後はアナウンスしていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		会社全体で週間共有している	ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有し、再発防止に努めている 職員の意識や対応様を見るポイントなども確認し合っている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			虐待防止研修を定期的に受講している
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	8			
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			